

私たちにできること

地球には他の星にないものがあります。例えば水です。水は地球の約七割を占めています。と言われ、水の惑星と呼ばれるほどです。そして、水があるから人間や生物などが存在すると思います。しかし、水も限りある資源です。いつかなくなってしまうかもしれません。もしなくなってしまうと人間はもちろん、他の生物も生きることが出来なくなります。そうならないために水を大切に使うことが必要です。そのためにはどうすればいいでしょう。まず、水を主に使っているのは人間です。もちろん他の生物も必要ですが、人間は体の約六十パーセントが水です。そして、毎日二リットルの水分を摂取する必要があります。それに加え、普通の生活を送るために使っている日本人の一日の平均消費量は二八九リットルです。私はこの数字を見た時とても驚き

山添村立山添中学校 二年

井岡 菜々美

ました。全世界の人が一人一日でこの量を消費していったとしたら大量の水を消費してしまいます。しかし、全世界の人がこれだけの量を使っているわけではありません。世界の約三十ヶ国では二十リットルに満たない量で暮らしている人たちもいます。人が暮らしていくために必要な水の量は最低でも百リットルと言われているのにも関わらず、こういう人たちがいることは問題だと思います。では、どうすればいいか。私たちにできることはとても簡単で水の節水をしていくことです。そうすることで水の消費量は減り、あまり水が使えない人たちも使えるようになるのではな

いかと思います。

ですが、それだけでは世界中の人々が水を自由に使えるのは限りません。日本では蛇口をひねれば体に害のない水がでてくるのでい

つても安心して飲めます。ですが、他の国ではほとんどが水道水を飲むことができません。アフリカなどの国では安心して飲むことができない水がなく、整備されていない井戸などの水を飲んで困っている人もいます。この状況を変えなければ今後も困っている人がいる、もしくは増える可能性もあります。日本で水道水が飲めるのはしっかりと設備を整えているからです。どの国でも設備を整えようとするとは莫大なお金がかかります。そして中国などでは国土が広いため日本より大変で時間がかかります。アフリカなどでは水がでる場所を作らないといけません。私たちができることは募金だと思えます。少し大きなことでも自分ができることはなにか、身近なものから考えていくといいと思います。

次に、水を汚さないためにはどうしたらいいのか考えていきたいと思えます。みなさんは水を汚してしまっているという自覚がありますか。工場から出ているものだと思われがちですが、実際は七十パーセントほどが家庭から出ている生活排水です。汚れた水をきれいな水に戻すのはとても大変です。例えば、

ラーメンの汁なら浴槽は約八杯分の水が必要でです。このように多くの水を使つてきれいにしています。私はとても驚いたと同時に改善していこうと思えました。これを知つてからは汁も飲んで、飲めなかった分をティッシュで吸い取つてから捨てるようにしました。こういう工夫から変わっていくのだと思います。このまま何も改善されずにいくと将来水を得られなくなるかも知れません。未来のためにも、今自分にできることはあるのか、どういう風に変えていけばいいのか考えることが必要だと思えます。未来を生きる人たちが水に困っていないようになつていたらいいなと思えました。